

せんせい あのね(こどものつぶやきコレクション)

理論社 鹿島和夫 絵 ヨシタケシンスケ

校長 桑野 啓子

昨年度にようやく再開できた水泳指導を今年度も6月から順調に進めています。彩都の丘学園は「学ぶ、鍛える、つながる」を目標にしています。その「つながり」に大いに感謝して日々の学園生活を過ごしています。水泳指導でも「ぷちサポ」さんや学校ボランティアさんに大きなお力を頂戴しています。保護者さん、地域の方々の毎日の見守りにも感謝しております。ありがとうございます。

6月11日から13日の2泊3日で、9年生が長崎に修学旅行に出かけました。子どもたちは、6年生時に広島宿泊平和学習を経験しています。9年で長崎に出向き平和の学びをつなぐことはとても意義深いものがあります。今年度も9年生の平和実行委員さんが、1年から8年のみなさんに平和の祈りを込めて、つるを折る協力依頼をしました。(9年生が7月の放送平和集会で、詳しい報告をする予定になっています)事前学習もしっかりと行い、長崎では語り部さんのお話に集中して、その後は質問をしたり、感想を述べたりする姿も見られました。平和の学びはもちろんのこと、学年のつながり、行動班のつながりも意識する修学旅行にできました。その後の学園生活でもより一層つながりを深めていってほしいです。

「一年一組 せんせい あのね」という本について教えてもらいました。『「あのね帳」からうまれた、かるやかで ふかく のびやかで こまやかな一年生のことばたち』(本の帯より)ページをめくると、子どもたちの素直なことばにクスッとったり、感心したり……。ひとつ紹介します。

つうちぼ

つうちぼのじは かんじばかりで ぜんぜんなにがなにか わからへん
なんで こんなもんで おかあちゃんがおこるんやろ

多くの子どもたちが集うこの学園で、子どもたちはさまざまつぶやきを発しています。わたしたちは、そんなつぶやきをよく聞いて、子どもたちが安心して過ごせているだろうか等、日々振り返りながらの1学期もあと2週間と少しになりました。この間、子どもたちは、互いの距離感を学んだり、思いをことばにして伝える大切さも学んでいます。子どもたちそれぞれががんばったことをお伝えする個人懇談が始まります。各ご家庭におかれましても、学園の取り組みにあたたかい思いを寄せてくださり、ご理解とご協力を賜りましたことを大変ありがたく思っています。1学期最後まで、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。